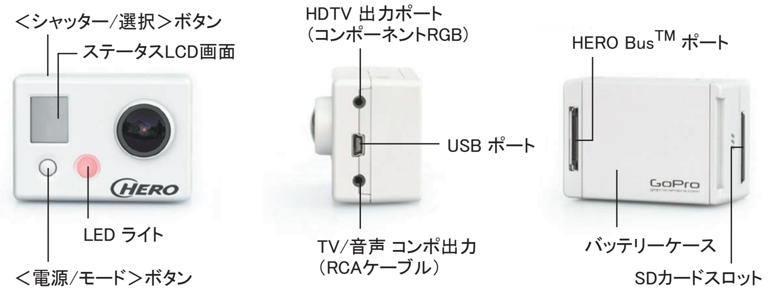
GoPro HD 1080 HERO

ファームウェアアップデート[v0.1.01.50]

取扱説明書 ※本説明書は予告なく改訂される場合があります。

⚠ お使いになる前に

バッテリーは完全に充電されていない状態で出荷されています。カメラを最初にお使いになる前にバッテリーを充電してください。ただし、充電せずにお使いになってもカメラが損傷することはありません。詳細は[バッテリーの充電]の項目を参照してください。



カメラの基本操作

２つのボタンですべての操作を行ないます。

●＜電源/モード＞ボタン

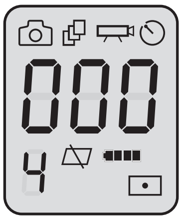
カメラの前面にある＜電源/モード＞ボタンはカメラの電源をオン/オフし、またカメラの電源が入っている状態ではモードの切換スイッチとして機能します。

電源を入れる	＜電源/モード＞ボタンを2秒間長押しするとカメラの電源が入ります。ビープ音が3回鳴り、カメラの電源が入ったことを知らせます。
電源を切る	＜電源/モード＞ボタンを2秒間長押ししてください。ビープ音が7回鳴り、カメラの電源が切れることを知らせます。
モードを変更する	カメラの電源が入った状態で＜電源/モード＞ボタンを押すと、ビデオモードやセルフタイマー、写真モードなどに切り替わります。

●＜シャッター/選択＞ボタン

カメラの上部にある＜シャッター/選択＞ボタンを押すとビデオ録画や写真撮影を開始・終了できます。オプションの[設定メニュー]では、＜シャッター/選択＞ボタンはトグルボタンとして機能し、設定を変更します。詳細はこの説明書の[設定メニューの詳細]のセクションを参照してください。

LCD画面　ステータスアイコン



写真モード	3枚連続写真モード	ビデオ撮影	10秒タイマーモード
解像度インジケーター	最後/全消去 SDカードフォーマット	バッテリーメーター	スポット露出メーター　ON

各モードの説明

＜電源/モード＞ボタンを押すと、図のように順番に表示します。

“X”秒間隔 連続写真撮影

LCDステータス画面に[“X”秒間隔連続写真撮影]アイコン（点滅）が表示されているとき。

初期設定のタイミングは“1”秒間隔自動連続写真撮影です。
＜シャッター/選択＞ボタンを押して写真撮影を開始します。もう一度＜シャッター/選択＞ボタンを押すと、撮影が終了します。
撮影のタイミングを1，2，5，10，30，60に変更するには、[設定メニュー]の「秒間隔の連続写真撮影タイミングを選択する」の説明を参照してください。
※写真の解像度は500万画素相当（5M:2592×1944）となります。

↓

SEt 設定メニュー

＜電源/モード＞ボタンを繰り返し押して、[設定メニュー]アイコンを表示させせます。
＜シャッター/選択＞を押して設定メニューに入ります。
◇ 電源を入れたときの初期モード　◇ビデオ解像度　◇露出設定　◇秒間隔の連続写真撮影タイミング　◇LED点滅　ON/OFF
◇ ビープ音　ON/OFF　◇NTSC/PAL　◇最後に保存したファイルの消去　◇ファイルをすべて消去/SDカードのフォーマット
◇ 自動電源　OFF　◇日付と時間
などの設定はこのメニューで行ないます。
※詳細は別紙参照

↓

シングルショット 写真の撮影

LCDステータス画面に[シングルショット写真の撮影]アイコン（点灯）が表示されているとき。

＜シャッター/選択＞ボタンを押すと写真を撮影します。
ピープ音が鳴り、赤色LEDが点滅して写真が撮影されたことを示します。
※写真の解像度は500万画素相当（5M:2592×1944）となります。

↓

トリプルショット 連続写真撮影

LCDステータス画面に[トリプルショット連続写真撮影]アイコンが表示されているとき。

＜シャッター/選択ボタンを押すと連続写真を撮影します。
1秒間で3枚連続写真を撮影します。
※写真の解像度は500万画素相当（5M:2592×1944）となります。

↓

ビデオ撮影

LCDステータス画面に[ビデオ撮影]アイコンが表示されて いるとき。

カメラは初期設定のビデオモードに入ります。
初期設定の解像度は960p（1280×960）＝r4です。解像度については[設定メニュー]の[ビデオ解像度を設定する]を参照してください。
＜シャッター/選択＞ボタンを押してビデオ録画を開始します。録画中はカメラ前方にある赤色LEDライトが点滅します。＜シャッター/選択＞ボタンを押して録画を終了いたします。
SDカードが一杯になるか、バッテリーの残量が無くなる（完全充電から2時間30分）とカメラは自動的に録画を停止します。（SDカードが一杯になった場合はLCD画面に“Full”と表示されます）
※アップサイドダウンモード時はアイコンが点滅します。

↓

10秒タイマー

LCDステータス画面に[10秒タイマー]アイコンが表示されているとき。

＜シャッター/選択＞ボタンを押すと10秒後、自動的に写真を撮影します。
一連のビープ音と点滅する赤色LEDライトは、写真が撮影されていることを示します。

＜電源/モード＞ボタンを繰り返し押してモード変更を行い、SEtアイコン（左記）を表示させます。
＜シャッター/選択＞ボタンを押して設定メニューに入ります。
設定メニューに入ったら、＜電源/モード＞ボタンを繰り返し押し、設定メニューを循環して表示されます。設定したいメニューが表示されたら＜シャッター/選択＞ボタンを押して設定を行ないます。

1ボタンモードを選択する

電源をオンにすると、設定しているモードで自動撮影が開始されるように設定します。
撮影終了は＜パワー/モード＞ボタンを約3秒間長押しします。

初期設定はOFF

onF 1ボタンモード OFF	**onO** 1ボタンモード ON

1ボタンモードを解除する

1ボタンモードをOFFする場合は、自動撮影開始後にシャッターボタンを3秒間長押しすることで設定画面へ移行します。
シャッターボタンを押してonFを選択して電源を切ります。

電源を入れたときの初期モードを選択する

カメラの電源が入ったときの初期モードを、[ビデオ撮影]、[シングルショット写真撮影]、[トリプルショット連続写真撮影]、[“X”秒間隔連続写真撮影]のどれかのモードに設定することができます。

初期設定はF

F ビデオモード（Fは“Filming”の略）	**P** シングルショット写真モード
3 トリプルショット写真モード	**PES** “X”秒間隔連続写真モード

ビデオ解像度を選択する

HD HEROカメラでは次のr1～r5までのビデオ解像度が使用できます。

初期設定はr4

＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押して選択を変更します。
＜電源/モード＞ボタンを押すと画面表示された設定を保存し、次の機能選択に進みます。

注：設定メニュー以外の画面では、r1、r2、r3、r4、r5設定は、通常LCD画面の左下に1、2、3、4、5(″r″は付きません)と表示されます。この例として、前述の″ステータスLCDアイコン″の図を参照してください。

LCD画面	モード名	画像解像度	1秒間のコマ数	画角	モードの説明
r1	r1	WVGA（848×480）	60fps*	170° 16:9	SD(通常)画質となりますが、ファイルサイズは最も小さくなります。長時間の撮影に向いています。
r2	r2	720ピクセル（1280×720）	30fps	170° 16:9	HD(ハイビジョン)画質となります。移動体やギアへの搭載時に、広角は必要ではあるが、縦視野はそれほど重要ではない場合に最適です。
r3	r3	720ピクセル（1280×720）	60fps*	170° 16:9	上のモードと同じ画像解像度・画角ですが、1秒間のコマ数が2倍になります。滑らかな動きの映像を撮影する場合に最適です。
r4	r4	960ピクセル（1280×960）	30fps	170° 4:3	HD画質となります。全モードの中で、縦視野が最大になります。自身の体やヘルメット、サーフボード、チェスティに取り付ける場合に最適です。
r5	r5	1080ピクセル（1920×1080）	30fps	127° 16:9	フルHD画質となります。全モードの中で、最高の画質を得られます。車両からの撮影に最適です。視野（画角）は 127° になります。

＊ 60fpsは、対応する再生機器やPCでの再生・編集時に超スムーズな再生が可能です。
また、動きの早い被写体をよりスムーズに映し出します。

露出設定を選択する

環境光状態に応じて、スポットメーター（Spot Meter）と中央加重平均メータ（Center Weighted Average Meter）露出設定のどちらかを選択します。

初期設定はCnt

Cnt
中央加重平均メーターは、通常の屋外と室内光の環境に最適です。

Spt
スポットメーターは、車内などの暗い場所から明るい外部の撮影をする場合に使用する設定です。スポットメーターは車内に設置しても外部の路面などの撮影シーン中央部の露出を調節します。
（※運転者を撮影するとき、車内の最適露出が必要な場合は、中央加重平均メータを選択して車内の露出を得ます。）

スポットメータがアクティブのときにこのアイコンがLCDに表示されます。

アップサイドダウンモードを選択する

上下逆転撮影が可能になります。
＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押してUP(通常撮影)、UPd（上下反転撮影)の選択を変更します。
＜電源/モード＞ボタンを押し、設定を保存し、次の機能選択に進みます。

初期設定はOFF

UP アップサイドダウンモード OFF	**UPd** アップサイドダウンモード ON

ライブフィードモードのON/OFFを選択する

録画しながら、リアルタイムで別のモニター等に映像・音声を反映できるように設定します。
＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押してLFF（ライブフィードOFF）LFO（ライブフィードON)の選択を変更します。
＜電源/モード＞ボタンを押して設定を保存し、次の機能選択に進みます。

初期設定はOFF

※TVやHDTVで写真やビデオを再生する場合は、ライブフィードをOFF（LFF）にしておいてください。OFFにしないと再生ができません。

接続方法
カメラ側面のTVジャックにRCAケーブル（赤白黄）の内、赤と白だけを音声ケーブルとして、TVなどに接続します。
コンポーネントケーブル費対応機材をお持ちの方で、HD画質でフィードバックを行ないたい場合は、別途販売しておりますD端子変換アダプターをご用意ください。

LFF ライブフィード OFF	**LFO** ライブフィード ON

ライブフィードオンスクリーンのON/OFFを選択する

ライブフィードON時に、バッテリー残量・撮影時間・録画ステータスが表示されるように設定できます。
＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押してoSF（ライブフィードオンスクリーンOFF）oSO（ライブフィードオンスクリーンON）の選択を変更します。
＜電源/モード＞ボタンを押し、設定を保存し、次の機能説明に進みます。

初期設定はOFF

接続方法
カメラ側面のTVジャックにRCAケーブル（赤白黄）の内、赤と白だけを音声ケーブルとして、TVなどに接続します。
※コンポーネントケーブル非対応機材をお持ちの方で、HD画質でフィードバックを行いたい場合は、別途販売しておりますD端子変換アダプターをご用意ください。

oSF ライブフィードオンスクリーン OFF	**oSO** ライブフィードオンスクリーン ON

秒間隔の連続写真撮影タイミングを選択する

[“X”秒間隔連続写真撮影（Photo every X seconds)]モードでは、1，2，5，10，30，60秒間隔で写真を連続撮影することができます。P1（1秒間隔連続撮影が初期設定）が表示されている状態で＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押すと、次の6種類の設定を循環できます。

初期設定はP1

P1 1秒間隔	**P2** 2秒間隔	**P5** 5秒間隔	**P10** 10秒間隔	**P30** 30秒間隔	**P60** 60秒間隔

LED点滅　ON/OFF　を選択する

撮影中にLEDライトを点滅させたり、撮影に支障がないよう常時消灯させることができます。

初期設定はON

bLO LED点滅ON	**bLF** LED点滅OFF

＜シャッター/選択＞ボタンを繰り返し押して選択を変更します。
＜電源/モード＞ボタンを押すと画面表示された設定を保存し、次の機能選択に進みます。

ビープ音　ON/OFF　を選択する

ビープ音が鳴るようにしたり、撮影に支障がないよう常時消音させることができます。

初期設定はON

bPO ビープ音　ON	**bPF** ビープ音　OFF

NTSC/PAL　設定を選択する

TVで再生する場合のカメラのビデオ出力フォーマットを設定することができます。
北米・日本でTV再生する場合は、nsc（NTSC）を選択します。PAL TV(北米・日本以外の大部分のテレビ）での再生、または任意地域でのPAL TVでの再生にはPALを選択します。

初期設定はON

nSC 北米・日本のTV設定	**PAL** 北米・日本以外のほとんどの地域でのTV設定

最後に保存したファイルを消去する

SDカードに最後に保存したファイルを消去することができます。
LStが画面に表示されたら＜シャッター/選択＞ボタンを押します。LStが点滅し警告します。

5秒間点滅します

消去する LStが点滅中に＜シャッター/選択＞ボタンを押すと、SDカードに最後に保存されたファイルが消去されます	**消去しない** “LSt”が点滅（5秒間）していなく、点灯しているのを確認し＜シャッター/選択＞を押します。 ファイルの消去をしないで次の機能選択に進みます。

ファイルをすべて消去し　SDカードをフォーマットする

すべてのファイルを消去し、SDカードをフォーマットし直すことができます。
ALLが画面に表示されているときに＜シャッター/選択＞ボタンを押します。
ALLが点滅し警告します。

5秒間点滅します

全消去する ALLが点滅中に＜シャッター/選択＞ボタンを押すと、SDカードのファイルがすべて消去されます 重要：SDカードはフォーマットされ保存されていたすべてのデータは消去されます	**全消去しない** “ALL”が点滅（5秒間）していなく、点灯しているのを確認し＜シャッター/選択＞を押します。 ファイルの消去をしないで次の機能選択に進みます。

自動電源　OFF　設定

カメラが、60，120，300秒後に自動的に電源が切れるように設定することができます。
また、カメラをOFFに設定するとマニュアル操作で電源を切るまでカメラの電源を入れたままに設定することもできます。

初期設定 OFF

OFF マニュアルのみでカメラの電源が切れます	**60** 最後にボタンが押されてから60秒後に電源が切れます	**120** 最後にボタンが押されてから120秒後に電源が切れます	**300** 最後にボタンが押されてから300秒後に電源が切れます

LCDバックパック電源　ON/OFF　を選択する

LCFに設定することで、LCDバックパックが60秒後に自動的に電源が切れるように設定することができます。
また、LCOに設定するとマニュアル操作で電源を切るまでLCDバックパックの電源を入れたままに設定することもできます。

初期設定はON

LCO マニュアルのみでLCDバックパックの電源が切れます。	**LCF** 最後にボタンが押されてから60秒後に電源が切れます。

日付と時間を設定する

カメラの日付と時刻を設定することができます。
（カメラからバッテリーを取り外し長期間経過すると日付と時刻の設定は消失する場合があります。）
dAtが表示されたら＜シャッター/選択＞ボタンを押して設定に入ります。

初期設定はOFF

1	**Y09-Y30** ＜電源/モード＞ボタンを押してY09(2009)からY03(2030)を循環表示させます。＜シャッター/選択＞ボタンを押して、次の日付設定に進みます。
2	**01-12** ＜電源/モード＞ボタンを押して01（1月）から12（12月）を循環表示させます。＜シャッター/選択＞ボタンを押して、次の日付設定に進みます。
3	**d01-d31** ＜電源/モード＞ボタンを押してd01（1日）からd31（31日）を循環表示させます。＜シャッター/選択＞ボタンを押して、次の日付設定に進みます。
4	**H00-H23** ＜電源/モード＞ボタンを押してH00(12am)からH23(11pm)を循環表示させます。＜シャッター/選択＞ボタンを押して、次の日付設定に進みます。
5	**00-59** ＜電源/モード＞ボタンを押して00(0分)から59(59分)を循環表示させます。＜シャッター/選択＞ボタンを押して、次の日付設定に進みます。

【分】設定を選択し、＜シャッター/選択＞ボタンを押すと、［設定］メニューのSEt項目に戻ります。

【設定】メニューを終了する

画面に ESC が表示された状態で＜シャッター/選択＞ボタンを押すと、［設定］メニューを終了します。

再生に必要なPCのスペック

HD HERO カメラはMicrosoftRMe/2000/XP/VISTAまたはそれ以上、Mac OS X 10.2またはそれ以上と交換性があります。

r5およびr3を再生に必要なWindowsシステム

・Microsoft WindowsR XP（サービスパック2またはそれ以上）またはVista以上
・3.2 GHz Pentium 4 またはそれ以上
・Direct X 9.0c またはそれ以上
・少なくとも1GBのシステム RAM
・少なくとも256MBの RAMを搭載するビデオカメラ

r5およびr3を再生に必要なMacシステム

・Mac OS X v10.4.11 またはそれ以上
・2.0 GHz Intel Core Duo またはそれ以上
・少なくとも1GBのシステム RAM
・少なくとも128MBの RAMを搭載するビデオカメラ

ビデオや写真をコンピューターに転送する

WINDOWS OS のPCに転送する場合

1）付属のUSBケーブルを使い、カメラをPCに接続します。
2）＜電源/モード＞ボタンを押してカメラの電源を入れると、LCD画面に″USB″と表示されます。
[マイコンピュータ]をダブルクリックすると、[リムーバブルディスク]アイコンが表示されます。
表示されない場合は[マイコンピュータ]を閉じ、もう一度開いてください。
3）[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックします。
4）[DCIM]フォルダアイコンをダブルクリックします。
5）[100GOPRO]等のフォルダアイコンをダブルクリックします。（フォルダ名はカウントアップされます。）
6）写真とビデオファイルは[100GOPRO]等のフォルダに格納されています。
7）写真やビデオファイルを任意の場所へドラッグしてコピーしてください。
またはダブルクリックして再生します。

※ 動画の再生にはQuickTimePlayerが必要です。（mp4を再生可能なプレイヤーが必要です。）無料でAppleのサイトでソフトウェアをダウンロードできます。
※ ファイル名を変更するとTVでの再生ができなくなりますのでご注意ください。

MACに転送する場合

付属のUSBケーブルを使い、カメラをMACコンピューターに接続します。
MAC OSは接続されたカメラを外部ハードドライブとして認識します。

MACユーザーへの重要なヒント
SDカードからファイルを消去したときは、SDカードを抜く前、またはカメラの接続を切る前に、ゴミ箱を空にする必要があります。ゴミ箱を空にしないと、SDカードから写真やビデオが完全には消去されません。

HD HERO カメラは、TVまたはHDTVのRCAまたはコンポーネント（RGB）ポートに接続することで高画質の再生が可能です。

カメラをTVやHDTVに接続する

カメラが正しくNTSCまたはPALにビデオ設定されていることを確認してください。誤った設定ではTVで映像を再生することができません。これは[設定メニュー詳細]のセクションで説明されています。

TVにて再生する場合は、カメラ本体のHDTV出力ポートとTV/音声コンポ出力をHD対応TVに接続するとPC並みの画像をお持ちのTVで見ることができます。
注意）コンポーネント端子（赤・青・緑）がない場合、お持ちのTVが外部接続のRCA端子対応であればご覧いただくことは可能です。ただしこの場合は、高画質では表示がされませんのでご注意ください。

D端子での接続が可能なTVの場合
お持ちのTVがD端子接続可能であれば、コンポーネントビデオコードからD端子に変換するコードが販売されています。お買い求めの際は、お近くの電化用品店にてお買い求めになれます。
接続の際は、交換したD端子コードをTVに接続してください。また、RCA端子の赤・白のコードをTVの的確な場所に接続してください。（音声出力に必要です）接続が正しければ、フルHDでの動画と音声が再生されます。

TVやHDTVで写真やビデオを再生するステップ

1）付属のケーブルを使い、TVやHDTVのRCAまたはコンポーネント（RGB）ポートにカメラを接続します。カメラ側面のアイコンがどのケーブルをどのポートに接続すべきかを示しています。
2）HDTVに接続する場合、RCAケーブルを音声に、コンポーネント（RGB）ケーブルをHDビデオ信号に使用します。
3）接続が完了したらカメラの電源を入れます。
4）本体前面の液晶に「tEL」が表示され、TV画面にLIVEFEED・VIDEO・PHOTOの選択画面が表示されます。任意のメニューを＜電源/モード＞ボタンで選択し、＜シャッター/選択＞ボタンで決定します。
・LIVEFEEDモード…録画しながら、リアルタイムでTVなどに映像・音声を反映します。
※設定メニューのライブモードのオンオフの設定は無視されます。
・VIDEOモード…録画したビデオを再生するモードです。
・PHOTOモード…撮影した写真を再生するモードです。
5）ビデオや写真を再生します。
【VIDEOモード、PHOTOモード共通の操作】
・SDカード内のビデオや写真は、最後に撮影したものから、順番に再生されます。
・＜電源/モード＞ボタンを押すと次のビデオや写真に進み、＜シャッター/選択＞ボタンを押すと前のビデオに戻ります。＜電源/モード＞ボタンを長押しするとビデオ/写真を早送り再生し、＜シャッター/選択＞ボタンを長押しするとビデオや写真を早戻し再生します。
・VIDEOモード、PHOTOモードを切り替えるには、いったん本体とTVの接続を解除してから再度接続します。LIVEFEED・VIDEO・PHOTOの選択画面が表示されますので、任意のメニューを選択してください。
6）再生が終了したらTVとカメラの接続を解除し、カメラの電源を切ります。

SDカードの使用

HD HERO カメラには2GB,4GB,8GB,16GB,32GB容量のSDカード/SDHCカードが使用できます。このカメラはどのスピードのカードでも使用可能ですが、GoPro社は信頼性からHDビデオ撮影には最低でもクラス4スピードのカードを推薦します。GoPro社の社内テストの結果、振動の多い撮影環境には一流メーカーのSDカードやSDHCカードが高い信頼性を示すことが判明しました。
（なお、データの保存規格として、約3.8GBが1ファイルとして保存されます。連続してそのファイルサイズ以上録画を続けた場合はファイルが約3.8GBずつ分割されて保存されます。）

（タジマモーターコーポレーションは、日本メーカー製および、SanDisk、キングストン、パトリオットの3メーカー製のSDカード/SDHCカードを推薦します。また、本物と非常に類似したコピー品にお気をつけください。）

SDカードを挿入するには、カメラの側面にあるSDカードスロットにSDカードを入れます。このときSDカードのラベルがカメラ前方を向くように挿入します。カチッと聞こえるとSDカードがカメラ内に固定されます。SDカードを取り外すには、カードをカメラ内に押すと、スプリングの反動でカメラから外れて出てきますので、カードを引き出してください。

バッテリーの充電

バッテリーの残量が少なくなると、LCD画面に″bat″メッセージが点滅し、カメラは録画中であればファイルを保存し、電源が切れます。バッテリーを充電してください。

1）付属のUSBケーブルを使い、カメラに電源が入っていない状態でカメラをPCに接続します。
2）カメラ前部にある赤色LEDが点灯し、電池が充電中であることを示します。
3）バッテリーの充電が完了すると赤色LEDが消灯します。
4）バッテリーは、コンピューターのUSBポートから約2時間で80%充電されます。
100%充電には4時間かかります。
5）1000mAh USB充電器を利用すると、1時間で80%充電されます。100%充電には2時間かかります。
※充電器によっては時間の誤差があります。カメラ本体のLED消灯で充電が完了したことを確認してください。

撮影中の充電

GoProアクセサリーのウォールチャージャー（1000mAh USB 充電器）またはカーチャージャー（500mAh シガレットライター用充電器）を使用し、充電しながらの撮影が可能です。

撮影中に充電がされている場合は、LCD画面のバッテリーメーターアイコンがスクロールし、電池が充電されていることを示します。

※ GoProアクセサリーの「ウォールチャージャー」、「カーチャージャー」は発売予定です。
※ 撮影中の充電を行なう際は、必ず撮影前にUSB接続を行ってください。撮影開始後にUSB接続を行なっても充電は開始されません。
※ PCを使用しての、充電中の撮影はできません。

バッテリーの取り外し

バッテリーはカメラ内に確実に格納され、振動の多い撮影環境での信頼性を高めています。
バッテリーを取り外すには、バッテリーの側面を押しながらカメラから引き抜きます。（バッテリーは容易に引き抜けない設計になっています。）
ほとんどの場合、カメラからバッテリーを取り外す必要はありません。バッテリーを取り外すと、カメラで設定した日付と時刻は消去されますのでご注意ください。
（専用予備バッテリーは別途販売されています。）

ファームウェアアップデート

GoPro HDではファームウェアによるバージョンアップに対応をしております。GoPro米国本社のサイトよりダウンロードが可能となっております。詳細については当社ホームページの「サポートページ」
（http://tajima-motor.com/gopro/support/index.htmlをごらんください。

トラブルシューティングや操作方法に関してのお問い合わせ

TAJIMA
MOTOR CORPORATION

株式会社タジマモーターコーポレーション
GoPro事業部
〒438-0213 静岡県磐田市竜洋稗原665
TEL 0538(66)0020 FAX 0538(66)7583
E-MAIL info@tajima-motor.com

110322SWD-9_v010150